

二〇二六年度 大学院Ⅲ期(外国人)入学試験問題 実践女子大学大学院				
漢文学	文学研究科	博士前期	国文学専攻	
科目	科	課程	専攻	受験番号
				氏 名
				採 点

以下にあげる【問題文】は、『四庫全書総目』『四庫全書総目提要』、あるいは『四庫提要』ともいう）史部史評類の冒頭の一部分である（設問の都合上、一部省略がある）。この【問題文】を読んで、後の問い（問一～問四）に答えなさい。（解答はすべて解答用紙に記入すること）。

【問題文】

春秋筆削、議而不辨。其後三傳異詞、史記自爲序贊、以著本旨。而

先_ニ黃老_④、後_ニ六經_ヲ、退_ニ處士_ヲ、進_ニ姦雄_ヲ。班固復異議焉。此史論所以繁也。其_ノA

中_ニ考_ニ辨史體_ヲ、如_ニ劉知幾_ノ・倪思_ノ諸書、非_ニ博覽精思_ノ、不能成帙。故作者差

稀。至於品隲舊聞、抨彈往迹、則纔繙史略、即可成文。此是彼非、互滋_ニ

簧鼓。故其書動至汗牛。又文士立言、務求相勝、或至鑿空生義、僻謬

不情。故瑕類叢生、亦惟此一類爲甚。我皇上綜括古今、折衷衆論、欽_ニ

定評鑑闡要及全韻詩、昭示來茲。日月著明、燭火可息。百家譌語、原

可無存。以古來著錄、舊有此門、擇其篤實近理者、酌錄數家、用備體

裁云爾。

【注】

六經…儒教の六つの重要な經典。易・書・詩・春秋・礼・樂の六つ。

繁…雑然としているさま。煩雑なさま。

劉知幾…人名。歴史書を論じた『史通』の著者。

倪思…人名。『史記』と『漢書』の異同を論じた『班馬異同』の著者。

品隲…等級をつける。

抨彈…罪を調べ上げる。

簧鼓…妄言や興味を引く言葉などで人々を惑わす。

滋…増す。

汗牛…汗牛充棟の略。書物がとても多いこと。

鑿空…根拠の無いでたらめを述べる。空論のこと。

僻謬不情…でたらめで情理に合わない。

瑕類…欠点。

皇上…臣下が皇帝のことをいう時の表現。ここでは清の乾隆帝を指す。

評鑑闡要…書名。

全韻詩…書名。

来玆…今後。

日月著明、燭火可息…『莊子』逍遙遊に「日月出矣而燭火不息、其於光也、不亦難乎」とあり、これを踏まえた表現。燭火は、たいまつので、小さな火をいう。

調語…妄語。

酌…くみとる。えりわけ。

問一 【問題文】全文の書き下し文を書きなさい。

問二 【問題文】の中の傍線部A「其中考辨史體、如劉知幾・倪思諸書、非博覽精思、不能成帙。故作者差稀。至於品隲舊聞、抨彈往迹、則纔繙史略、即可成文。」の現代日本語訳を書きなさい。

問三 【問題文】の中の傍線部①～⑤の語について、簡潔に説明しなさい。

- ① 春秋
- ② 三傳
- ③ 史記
- ④ 黃老
- ⑤ 班固

問四 『四庫全書総目』について、簡潔に説明しなさい。